

第七十六回
帝國議會 貴族院

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案特別委員會議事速記錄第四號

付託議案(追加)

關東局、臺灣總督府、樺太廳及南洋廳ノ各特別會計ニ於ケル簡易生命保險及郵便年金ノ事務ノ取扱ニ關スル經費等ニ關スル法律案(政)

木炭需給調節特別會計法中改正法律案(政)

昭和十六年二月十四日(金曜日)午後一時

四十二分開會

○委員長(伯爵後藤藏君)

ソレデハ只今

カラ開會致シマス

○子爵野村益三君

私ハ資料ヲ頂戴シテ茲ニ御説明ヲ願ヒタ伊思フノデアリマスガ、矢張

モノ位ハ、是ハ矢張リ併セテスベキモノダト思フ、結局一般會計デ今申上ゲタコトニ

加フルニ公債ノ發行額、是ハ言フ迄モナク

本豫算デ十八億八千萬圓、今度ノ追加一號

デ十一億二千四百六十餘萬圓ト云フモノハ

承知致シテ居ルノデアリマス、ソレガ一般

會計、ソレカラ特別會計、是ハマア四十七

モアル特別會計デ、歲出ガナカノ我々ニ

ハ分ラス、是モ本豫算ト特第一號ノ合計、

ソレカラ今申上ゲタヤウニ、特別會計ニ屬

スル豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ要

スル件、セメテ十六年度分、而シテ特別會計

ニ於ケル公債發行額、是ハ本豫算デ確カ五

億一千六百六十餘萬圓、特第一號ガ五億一

千七百八十一萬餘圓ト承知シテ居リマス

ガ、果シテ是ガサウデスカ、サウデ宜シイ

ノデセウカドウカ、勿論特別會計ニ關スルナ一覽表ガ欲シイ、是ハ豫算委員會ノ方ニスウ思フノデ、後レ馳セナガラ御願ヒヲ致シマス、ソレハ此ノ歲出ヲ一目ニ分ルヤウナ、一通リ承知シテ置キタイ、斯フ云フコト御提案ニナツタコトト思フノデス、我々ガ約

九十九億ニ上ラムトスル公債ヲ審議スルニ當テ、一通リ承知シテ置キタイ、斯フ云フコト

ハ御分リデアリマセウカ、言フ迄モナク今

度十六年度ノ追加豫算十一億圓モ提案ニナル、十五年度ノ追加豫算ニシテモ追一號、追二號、追三號、結局マア出揃タ譯デス、ソコデスフ云フ一覽表ヲ願ヒタ伊思フ、ソレハ一般會計ニ付テ本豫算トシテ追第一號、ソレカラ昭和十五年度ノ追加一號カラ三號迄、尙一般會計ニ屬スル豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ要スル額、是ハマア

要ラナケレバ自然消滅ニナリマスガ、矢張

リ豫算ヲ考ヘル時ニ少クモ昭和十六年度ノモノ位ハ、是ハ矢張リ併セテスベキモノダト思フ、結局一般會計デ今申上ゲタコトニ

加フルニ公債ノ發行額、是ハ言フ迄モナク

本豫算デ十八億八千萬圓、今度ノ追加一號

デ十一億二千四百六十餘萬圓ト云フモノハ

承知致シテ居ルノデアリマス、ソレガ一般

會計、ソレカラ特別會計、是ハマア四十七

モアル特別會計デ、歲出ガナカノ我々ニ

ハ分ラス、是モ本豫算ト特第一號ノ合計、

ソレカラ今申上ゲタヤウニ、特別會計ニ屬

スル豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ要

スル件、セメテ十六年度分、而シテ特別會計

ニ於ケル公債發行額、是ハ本豫算デ確カ五

億一千六百六十餘萬圓、特第一號ガ五億一

千七百八十一萬餘圓ト承知シテ居リマス

ガ、果シテ是ガサウデスカ、サウデ宜シイ

ノデセウカドウカ、勿論特別會計ニ關スルナ一覽表ガ欲シイ、是ハ豫算委員會ノ方ニ

スウ思フノデ、後レ馳セナガラ御願ヒヲ致

シマス、ソレハ此ノ歲出ヲ一目ニ分ルヤウ

是ダケハ我々ガ承知シテ置キベキモノダト

スウ思フノデ、後レ馳セナガラ御願ヒヲ致

シマス、ソレハ此ノ歲出ヲ一目ニ分ルヤウ

是ダケハ我々ガ承知シテ置キベキモノダト

スウ思フノデ、後レ馳セナガラ御願ヒヲ致

シマス、ソレハ此ノ歲出ヲ一目ニ分ルヤウ

ソレノ追加ヲ表ニシテ、ソレニ「プラス」公債

發行額ト云フモノガ一覽表ニナツテ、第二ハ

通り拔ヶ勘定ヲ決済シタ後ノ純歲出ガドウ

カ、斯ウ云フコトデス、尙モウ一ツハ臨時軍

事費ノ最初カラノ通計デアリマスガ、是ハ

今日配付サレタノニアリマスカラ、ソレハ

宜シウゴザイマス、今申上ゲタヤウナノガ

早急ニ御出來ニナリマスカ、又出來テオイ

デニナリマスカ

○政府委員(廣瀬豐作君)

只今ノ御質問ノ點ハ誠ニ御尤モデアリマシテ、十五年度ノ豫

算ニ付キマシテハ追加豫算ガ三本出テ居リ

マシテ、十六年度ニ於キマシテハ厖大ナル

追加豫算ガ出ルト云フヤウナ譯デアリマシ

テ、御分リ難イコトハ萬々御察シ致シテ居

ルノデアリマス、ソコデ只今御尋ノ表ヲ拵

ヘマスコトニ付キマシテハ、御要求ノ通り

ノモノヲ短期間ニ直グ拵ヘルト云フコトハ

相當困難カト思ヒマスケレドモ、先日十六

年一度ノ追加豫算竝ニ十五年度ノ追加第三號

ノ豫算ヲ出シマシタ時ニ一通り出揃ヒマシ

タノデ、此ノ際ニ歲計歲出ノ全體ヲ、十五

年度分ヲ全部集計致シ、十六年度分モ亦全

部集計致シタ數字ガゴザイマスノデ、此ノ

席上ニ於テ取敢ズ是デハマダ御満足デハナ

イト思ヒマスケレドモ、ソレヲ申上ゲマシ

四千八百三十餘萬圓、臨時部ニ於キマシテ

ハ三十四億二千五百四十二萬八千圓、之ヲ

合計致シマスルト一般會計ノ總額ガ六十一

億七千三百七十六萬九千圓、斯ウ云フコト

ニナリマス、ソレカラ十五年度ノ臨時軍事

費、是ハ御承知ノヤウニ先般十億圓ノ追加

ヲ致シマシタ結果、五十四億六千萬圓ト

五年度ノ一般會計ト臨時軍事費ヲ合セマ

シタ金額ハ、百十六億三千三百七十六萬九

千圓、斯ウ云フ數字ニ相成リマス、此ノ内

所謂通り拔ヶ勘定ト申シマスノハ、即チ一

般會計ヨリ十五年度ニ於テ繰入レマシタ六

千七百八十一萬餘圓ト云フモノガダブツテ居ル譯デアリマ

ス、ガ併シ只今申上ゲマシタ數字ハ、其ノ

ダブツタ數字ヲ唯算術的ニ合セタト云フ數

字デゴザイマスノデ、其ノ點ハ御諒承ヲ願

ヒタイト思ヒマス、ソコデ十六年度ノ豫算

デゴザイマスルガ、是ガ本豫算ト追加豫算

ト合セマスルト、一般會計ニ於キマシテ、

経常部ガ三十六億三千四百三十五萬九千

圓、臨時部ニ於キマシテ四十三億六千七百

五萬圓、此ノ二口ヲ合計シマスト一般會計

ノ總額ガ出ル譯デアリマスルガ、即チ總額

ハ七十九億九千五百十一萬圓、此ノ七十九

一般會計ノ全部ト合セマスト、百二十八

七千萬圓ト云フ臨時軍事費ヘノ繰入ガゴザ
ベマスルト、十二億四千百餘萬圓ノ増加デ
アリマス、尙十六年度ノ豫算ノ中ニハ六億
次ニ國債ノ發行額ニ付キマシテノ御尋ガゴ
ザイマシタノデ、是モ追加豫算ニアリマシ
タ分トヲ合セテ前年度分ト比較シテ申上ゲ
タイト思ヒマス、先づ十五年度ノ國債發行
豫定額、是ハ十五年度豫算ト致シマシテハ、
一般會計ニ於テ十九億六百五十四萬二千圓
デアリマス、ソレカラ特別會計ニ於キマシ
テ四億四千六百五十四萬九千圓、一般會計
ト臨時軍事費ヲ除キマシタ特別會計全部ヲ
合セマシテ、公債ノ發行豫定額ガ二十三億
五千三百九萬二千圓、之ニ對シマシテ十五
年度ノ臨時軍事費特別會計ニ於ケル國債發
行額ガ四十六億七千五百三十三萬三千圓、デ
アリマスルカラシテ十五年度ニ於ケル國債
發行豫定額ノ總計ハ、全體デ七十億二千四
百六十二萬五千圓、斯ウ云フ數字デアリマ
ス、然ルニ十六年度ニ於キマスル國債ノ新
規發行豫定額ハ、本豫算ノ分ト追加豫算ノ
分ト合セマスルト、一般會計ニ於キマシテ
ハ三十億三百九十五萬圓、ソレカラ臨時軍
事費ヲ除キマシタ特別會計ニ於キマシテハ
五億九千三百八十三萬圓、之ヲ合計致シマ
スルト、三十五億九千七百七十八萬一千圓
ト相成リマス、之ニ對シマシテ臨時軍事費特
別會計ニ於キマスル十六年度ノ國債發行豫定
額ハ、三十九億七千七百十六萬七千圓デアリ
マスルカラ、此ノ二口ヲ合セマスルト、十
六年度ノ國債發行豫定額總額ハ、七十五億

チ千四百九十四萬ハ千圓ト相成リ、十五年度ニ較ベ
マスルト五億五千萬圓ダケ増加スル、斯ニ
云フ計算ニ相成ル譯デアリマス、尙只今冬
特別會計ヲ通ジテ、一般會計トノ純計豫算
ヲ成ルベク、出來テ居ルダラウカラ、出ス
ヤウニト云フ御要求デゴザイマシタガ、是
ハ普通ノ時デアリマスルト、丁度今頃ハ實
ハ出來テ居ル時期ナンデゴザイマスルガ、是
御承知ノ通リ今回ノ議會ニ於キマシテハ、
追加豫算モ何度モ出サナケレバナラスト云
ファウナ狀態デアリマス、色々ノ關係カラ
致シマシテ、主計當局ニ於キマシテハ相當
繁忙ヲ極メマシテ、未ダニ純計ノ數字ガ出
來兼ネテ居リマスノデ、甚ダ申譯ナイコト
デアリマスルガ、或ハコ、數日中ニハ御手
許ニ提出致シ兼ネルカト思ヒマスガ、其ノ
點ハ惡シカラズ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマ
ス

ノカ参考書ヲ見テ計算シテモ、今仰セラレ
タヤウナ數字ハ實ハ出ナイ、出シ得ナイ、
豫算委員會ノコトヲ言フノハ、是ハ出過ギ
テ居リマスケレドモ、ドウカ私ガ申上ゲダ
ヤウナ趣旨デ、將來ノ問題ト雖モ一見シテ
或ハモット大キク言ヘバ國民ニ對シテモ分
能ク分ルヤウナ表、即チ参考資料ヲ御持ヘ
ニナシテ、豫算委員ハ勿論我々ニ取ッテモ、
ルヤウニ、諒解ノ出來ルヤウニ一ツ御骨折
ヲ願ヒタイ、私ガ只今申上ゲマシタヤウナ
各項ニ付テハ、誰モ知ッテ居ナケレバナラヌ、
而モ参考書ヲ取ッテ計算シテ見テモサウハ
出ナイ、出シ得ナイ、ソレハ將來ノ問題ト
シテモ大藏當局トシテ能ク御考ニナシテ、一
ツ御實行ニナルヤウニ願ヒタイ、斯ウ思フ
ノデゴザイマス、例へば歲出ニシテモ前年
度ニ比シテ十二億四千萬圓ノ増ダ、公債ニ
シテモ今仰セラレタ五億五千萬圓ノ増ダト
申シマスケレドモ、ドウモ我々ガ當ツテ見
ルトムヅカシイノデス、ドウカ私ノ要求申
シタ表ニ付テモ、出來ルダケ早ク御骨折ヲ
願ツテ御示ヲ願ヒタイト云フコトト、將來ハ
豫算ノ大勢ニ付テ能ク分ルヤウナ参考資料
ヲ、豫算委員ハ勿論我々ニモ御配付ニナル
ヤウナ御研究ヲ願ヒタイ、此ノ二ツノコト
ヲ重ネテ要求ヲシテ置キマス

法律案外一件ノ政府當局ヨリノ御説明ヲ承
リタイト思ヒマス
○政府委員(廣瀬豊作君) 當委員會ニ併託
ニ相成リマシタ關東局、臺灣總督府、樺太
廳及南洋廳ノ各特別會計ニ於ケル簡易生命
保險及郵便年金ノ事務ノ取扱ニ關スル經費等
等ニ關スル法律案ニ付キマシテ、其ノ提出
ノ理由ヲ説明致シマス、簡易生命保險及郵
便年金ノ事業ノ進展ヲ圖リマスル爲、之ニ
關スル現業事務、其ノ管理事務等ヲ關東遞
信官署遞信局、臺灣總督府交通局、樺太廳
及南洋廳並ニ滿洲國駐劄特命全權大使、臺
灣總督、樺太廳長官及南洋廳長官ノ管理ニ
屬スル郵便局所ニ於テモ取扱ハシムルコト
ト致シマスル關係上、是等ノ官署ニ於テ取扱
ヒマスル簡易生命保險及郵便年金事務ニ關
スル經費及事務ノ取扱ニ關シ、生ジマスル
收入ハ關東局、臺灣總督府、樺太廳及南洋
廳ノ各特別會計ニ所屬セシメマシテ、其ノ
經費ノ財源ニ充ツル爲必要ナル金額ハ、簡易
生命保險及郵便年金ノ各特別會計カラ關東
局、臺灣總督府、樺太廳及南洋廳ノ各特別
會計ニ繰入ル、コトト爲ズノ必要ヲ認ヌマ
シテ、昭和十六年度豫算ニ於キマシテ之ニ
關スル歲入及歲出ヲ計上致シマシタ關係上、
會計法上ノ措置トシテ本法律案ヲ提出致シマ
シタ次第アリマス、次ニ同ジク當委員會
ニ併託ニ相成リマシタ木炭需給調節特別會
計法中改正法律案ニ付テ申上ゲマス、現下
ニ於ケル木炭ノ需給狀況ニ顧ミマシテ、其
ノ需給ノ調節ヲ一層圓滑ナラシメル爲ニ、
政府ニ於テ相當數量ノ木炭ヲ翌年度ニ持チ
越ス等ノ措置ヲ講ズルヲ必要ト致シマスル
處、是ガ爲ニハ木炭需給調節特別會計法第

三條ニ定ムル借入金ノ法定額ヲ増額スルノ
必要ヲ認メマシテ、昭和十六年度豫算ニ於
キマシテ、之ニ關スル歳入及歳出ヲ計上致
シマシタル等ノ關係上、本法律案ヲ提出致
シマシタ次第デアリマス、以上申述べマシ
タニノ法律案ニ付キマシテハ何卒御審議
ノ上速カニ御賛成アラムコトヲ希望致シマ
ス

○委員長(伯爵後藤—藏君) ソレデハ先ニ
戻リマシテ、初メニ併託サレマシタ昭和十
六年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債
發行ニ關スル法律案外五件ニ付テノ御質問
ハゴザイマセヌカ、御質問ガゴザイマセヌ
ケレバ討論ニ入りマス、デハ全部ニ付テノ
採決ヲ致シマス、右六案ニ付テノ採決、六
案ヲ政府ノ原案通り可決致スベキモノトシ
テ決定スルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵後藤—藏君) 御異議ガナイ
ト認メマス、ソレデハ又前ニ戻リマシテ、
先程廣瀬大藏次官カラ御説明ガアリマシタ
關東局、臺灣總督府、樺太廳及南洋廳ノ各
特別會計ニ於ケル簡易生命保險及郵便年金
ノ事務ノ取扱ニ關スル經費等ニ關スル法律
案外一件ニ付テノ御質疑ヲ願ヒマス

○子爵野村益三君 一通リ關係當局カラ御
説明ヲ願ヒタイ

○委員長(伯爵後藤—藏君) 簡易保險局長
ヲ御呼致シテ居リマスケレドモ、マダ御
見エニナリマセヌノデアリマスガ、河野
政府委員カラノ御説明デ宜シウゴザイマセ
ウカ

○子爵野村益三君 大體御願ヒ致シマス
○政府委員(河野一之君) デハ私カラ簡單
ニ御説明申上ガマス、關東局、臺灣總督府、

樺太廳及南洋廳ニ於ケル簡易生命保險ノ事
務及郵便年金事務ニ付キマシテハ、從來振
替貯金ノ形式デ以テ斯ウ云フ制度ヲ實施シ
テ參ッテ居ッタノデアリマス、即チ簡易保險
局長名義ノ口座ヲ設ケマシテ、向フノ郵便
局長ニ於テ集メタ金ハ全部保險局ノ方ニ持
テ來ル、斯ウ云フコトヲヤツテ居リマシタ
ノデアリマスガ、サウ云フ變則的ノ方法ニ
依リマシテハ、色々ト支障ガ多クゴザイマ
シテ、簡易保險相談所ナドモ正式ニ設ケル
コトガ出來ナイトカ、或ハ外地ニ於ケル郵
便官署ニ於ケル附隨的ノ事務ト云フヤウナ
關係ガアリマシテ、非常ナ取扱員ノ士氣ニ
モ影響スル、殊ニ最近貯蓄ノ獎勵トカ、斯
ウ云フヤウナ方面ノ金ヲ集メルコトニ付キ
マシテ、特ニ力ヲ入れナケレバナラスト云
フ情勢ニ於キマシテハ、非常ニ支障ガ多イ
ト云フ譯デアリマシテ、之ヲ正式化致シマ
シテ、斯ウ云フ法律ノ改正ヲ要スルコト
ニナツタノデアリマシテ、事業ト致シマシテ
ハ飽ク迄モ内地ノ事業デアリマスガ、其ノ
事務ノ取扱ニ於テ外地ニ於テ取扱フ事務、
其ノ内容ハ簡易生命保險及郵便年金ノ郵便
局所ニ於ケル現業事務、ソレカラソレヲ監
督スル事務、ソレカラ積立金ノ貸付調査ニ
關スル事務、ソレカラ簡易生命保險ノ保健
施設ニ關スル事務、斯ウ云フヤウナモノハ
外地ニ於テ之ヲ行フト云フコトニ致シマシ
テ、ソレヲ官制上明カニスル、從ツテソレニ
要スル經費ニ付キマシテハ、簡易生命保險
及郵便年金ノ特別會計カラ其ノ各外地特別
會計ニ繰入ヲ致ス、斯ウ云フヤウナコトニ
致シタ次第デアリマス、法案ノ形式ハ或ハ

樺太廳ノ郵便官署ト云フ意味デアリマシ
テ、現業事務ハ樺太ノ郵便局ガヤルノデア
リマスガ、積立金ノ貸付監查事務或ハ
樺太廳ノ郵便官署ト云フモノハ樺太廳ガ直接ヤル譯
デアリマス、從ヒマシテ斯ウ云フ風ニ
リマスガ、書キ分ケテアル譯デアリマス、南洋廳及南
洋廳長官ノ管理ニ屬スル官署ト云フノ
モ同様ノ意味デアリマシテ、管理事務
ニ付キマシテハ、及ビ積立金ノ貸付調査ト
云フ事務ニ付キマシテハ、南洋廳ノ内務部
ガヤル、斯ウ云フ關係デ書キ分ケテアルノ
デアリマス、簡単ゴザイマスガ……

○子爵野村益三君 只今ノ案件ニ付テハ又
追ヅテ御質疑ヲ申上ゲルコトニシテ、次ノ木
炭需給調節特別會計、ナカノ是ハ面倒ナ
問題デスカラ、此ノ方ノ御説明ダケヲ願ツタ
ラ如何カト思ヒマス

○政府委員(井出正孝君) 只今議題ニナリ
マシタ木炭靈給調節特別會計法中ノ改正ニ
伴ヒマシテ、最近迄ニ於キマシテノ木炭ノ
事情、並ニ木炭需給調節特別會計ノ運用ノ
概況ト、ソレカラ御審議ヲ戴キマスル此ノ
法案ニ依リマシテ、將來運用シテ參リマス
計畫ノ概要ヲ申上ゲタイト思ヒマス、木炭
ノ靈給關係ニ付キマシテハ、是ハ此ノ前ノ
議會ニ於キマシテ本特別會計法ノ御協賛ヲ

願ヒマスル際ニ、色々狀況ヲ申上ガマシタノ
デアリマスルガ、事變以來木炭ノ需要方面ガ
非常ニ増加致シテ參ッテ居ルノデアリマス
地ノ生產ニ俟ツテ居ル譯デアリマスルガ、生産
量ガ必ズシモ之ニ伴ハナイト云フ關係カラ
申シマシテ、木炭ノ需給關係ガ一時非常ニ
逼迫致シマシテハ、極力一方ニ於キマシテ
府ト致シマシテ、木炭ノ需給關係ガ一時非常ニ
申シマシテ木炭ノ生產、是ハ殆ド全部内
地ノ生產ニ俟ツテ居ル譯デアリマスルガ、生産
量ガ必ズシモ之ニ伴ハナイト云フ關係カラ
申シマシテ、木炭ノ需給關係ガ一時非常ニ
逼迫致シマシテハ、極力一方ニ於キマシテ
勞力ノ之ニ對シテ使フコトヲ許シマス限り
ニ於テ、極力木炭ノ增産ヲ圖リマシテ、事
變以來特ニ顯著ナ需要ノ增加ヲ示シテ居リ
マスル所ノ各種ノ礦工業用、殊ニ生産力擴
充ヲ中心ト致シマシテ、新タニ需要サレテ
參リマシタ斯様ナ方ノ需要ノ增加、又「ガ
ソリン」代用ト致シマシテ、木炭自動車等
ノ方面ニ新タニ需要ノ增加ヲ致シテ居リマ
ス部分等ノ、新規需要ノ增加ニ充テマスル
為ニ、極力生産ノ增加ヲ圖ツテ參ッテ居ル次
第デアリマス、ソレデ大體十五年度ニ於キ
マスル生産ノ目標ヲ一應八億四千七百萬貫
程ニ置キマシテ、之ノ增加ニ努メテ參ッテ居
リマス、是ガ為ニ各種ノ增産施設モ講ジテ
參リマシテ居リマス譯デアリマス、此ノ生
產ノ狀況カラ只今迄ノ所ヲ申シマスルト云
フ、八億四千七百萬貫程ノ生産ノ目標ニ
ハ、ナカノ、本年ニ於キマシテ殘念ナガラ
達シナイト考ヘマスルガ、非常ニ昨年ノ
秋以來木炭ノ規格ノ改正ヲ致シマシテ之ニ
伴ヒマシテ價格ノ多少ノ改訂ヲ致シマシタ
コト、其ノ他又立木ノ薪炭原木ノ値段ニ對
シマシテ、需給調整規則等ニ依リマシテ、
其ノ價格ヲ抑制スルト云フ風ナ方法ヲ講ズ
ルト云フ風ナ各般ノ施設ヲ講ジマシテ、極

力増産ヲ圖ツテ參ツテ居リマスノデアリマス
ガ、幸ニシテ本年ハ非常ニ此ノ冬カラ只今
迄ニカケマシテ生産地方面ニ於テ天候モ宜
シウゴザイマス、色々ナ條件ガ備リマシテ
非常ナ増産ヲ見テ居リマシテ、前年度ニ比
較致シマスレバ約一億貫近クノ生産ノ増加
ガ見ラレテ居ルト云フ風ニ豫想シ得ルノデ
ハナカカウトラ考ヘテ居リマス、一方消費
方面ニ對シテ配給ヲ適正ニシテ參ルト云フ
コトガ大切デアリマシテ、何シロ生産ヲ增
加致シマシテモ、一方消費方面ノ増加ハ其
ノ儘ニ致シテ置キマスト非常ナ殖エ方デア
リマシテ、ソコニ非常ナ木炭ノ配給上ノ偏
在ヲ來シマス、殊ニ從來ノ最モ大キナ用途
デアリマスル一般家庭ノ用途、即チ國民ノ
リマシテ、ソコニ生活必需品ノ一つシテノ用途方面ニ對シ
在ヲ來シマス、殊ニ從來ノ最モ大キナ用途
デアリマスル一般家庭ノ用途、即チ國民ノ
リマシテ、ソコニ木炭ノ配給上ノ偏在ヲ來シ
マシテノ配給ガ、非常ニ偏在シテ少クナッテ
參ルト云フ虞ガアリマスノデ、是等ノ方面
ノ配給ヲ十分ニ調整致シマスル爲ニ、木炭
需給調節特別會計ヲ十五年度以來實施致シ
マシテ、之ニ依リマシテ此ノ木炭ノ不需要
期ニ於キマシテ極力生産方面カラ政府が
買入ヲ致シマシテ、之ヲ東京、大阪其ノ他
ノ主要ナル木炭ノ消費都市ニ持ツテ參リマ
シテ配給致シマシテ、是等ノ主要消費都市
方面ニ於ケル冬ノ木炭ノ需要最盛期ノ需要
ヲ、之ニ依ツテ賄ツテ參ルト云フ計畫ノ下ニ
實行セラレテ參ツタ譯ニアリマス、ソレデ是ガ
爲ニ必要ナル取扱ハルベキ目標ヲ一億九千
二百萬貫程ニ定メマシテ、之ノ買入其ノ他ノ
事務ヲ、各種ノ準備ガゴザイマシタノデ昨年
ノ八月半バ頭カラ著手致シマシタ、サウシテ九
月以降著々ト各方面ノ生産府縣ニ、其ノ生
産力及ビ移出力ニ應ジマシテ木炭ノ供出ノ割
ヲ致シマシテ、之ノ買入ヲシ、都市方面ニ輸送

又各生産方面ノ非常ナ努力ニ依リマシテ配給ヲ致シテ居リマス、只今迄ノ集荷及ビ配給ノ状況ハ生産ノ増加等ニモ伴ヒマシテノ業務用木炭ニ對シマシテノ供給ハ先づ非常ニ順調ニ參ッテ居リマス、大體本年ノ冬ノ需要期ニ於キマシテノ家庭用木炭竝ニ各種ノ業務用木炭ニ對シマシテノ供給ハ先づ圓滑ニ参リ、心配ナク経過シ得ルモノト考ヘテ居リマス、而シテ此ノ木炭需給調節特別會計ヲ實地ニ運用シテ見マシタ結果、當初ノ計畫ニ付テ色々此ノ際更ニ整備擴充ヲ致シテ參ル必要ヲ感ジテ參ッタノデアリマス、ソレハ此ノ後ニ於テ益々木炭ノ各種ノ方面ニ對スル需要ガ増加致シマスシ、一方是等ノ生産府縣及ビ消費府縣ソレヽニ於テ消費ノ規正ヲ十分ニ致シマシテ、出來得ル限り一般ニ配給シ得ル木炭ヲ供出致シマシテ、之ヲ必要ナル消費部面ニ配ルト云フ風ニ配給ノ計畫ヲ秩序立テテ參リマセスト、政府ニ於テノ需給調節ノ爲ノ買入ト云フコトニモ非常ニ手違ヒラ來シ、困難ヲ來ス事情ニアル譯デアリマス、ト申シマスルノハ、大體木炭ノ全國的ノ需給調節ニ付キマシテハ、只今ト致シマシテハ北海道ヲ始メ約三十道縣が生産縣デアリマシテ、是等ノ道縣ニ於テハ縣内ノ需要ヲ賄シテ相當數量ノ縣外移出炭ガ出ルノデアリマス、之ヲ政府ニニ消費地方面ニ於ケル家庭用ノ木炭ヲ、而於テ買取りマシテ各種ノ需要ニ充テテ參ルモ十月乃至三月ノ初メ或ハ二月一杯ト云フト云フ風ニシカケレバナラヌノデアリマス、所ガ只今迄ノ計畫デハ一應木炭ノ中デモ特需要最盛期ニ需要サレル分ダケヲ買ツテ配ルト云フノガ、大體ノ事業ノ目標ニナツテ居

リマシタ、大體集荷ヲ致ス際ニ於キマシテハ其ノ分ダケヲ買ッテ、其ノ外ノ分ハ別ニ消費地へ他ノ系統デ流スト云フコトハ、之ヲ供出致シマスル府縣ニ於テモ非常ニ計畫ガ立タズ、又消費地ニ入リマシテノ分配ニ於テモ、家庭用木炭以外ノ各種ノ業務用木炭ヲ別系統デ行クト云フコトデハナカヽ其ノ間ニ配給ノ統制モ出來ズ、又相當消費規正ヲシテ行ク場合ニ於テモ困難ヲ感ズルト云フ状況デゴザイマシテ、從ヒマシテ是等ノ木炭ノ全般的ノ配給ヲ十分ニ圓滑ニ致シテ參ル爲ニハ、只今申上ゲタヤウニ生産府縣カラ縣外ニ移出セラレル餘力ノアル木炭ハ原則トシテ政府ニ全部買取ヲサセマシテ、ソレヲ政府ガ消費府縣即チ自縣内ニ於テノ生産量ヲ以テシテハ消費量ヲ賄ヘナイ府縣、ソレ等ノ府縣ガ約十四アル譯テアリマス、其ノ殘リノ府縣ハ所謂自給自足ノ縣ニ該當スル譯デアリマス、此ノ消費府縣ノ各般ノ消費ニ對スル全面的ノ配給ヲ政府負擔ニ依ツテヤツテ參ルト云フコトデナケレバナラヌト考ヘマシテ、十六年度ノ特別會計ノ豫算ニ於テハ左様ナ目標カラ數量ヲ增加致シマシテ、縣外ニ移出セラルベキ數量ハ大體各般ノ從來ノ實績等ニ依リマシテ三億貫ト押ヘマシテ、此ノ三億貫ノ木炭ヲ十六年度ニ於キマシテハ特別會計デ買入レマシテ、之ヲ只今申上ゲマシタヤウナ仕組、方法ニ依リマシテ總テノ消費部面へ政府カラソレハノ機關ヲ通ジテ約倍近クノ増加ヲ願フコトニ致シテ参リタイト云フコトナノデアリマス、ソレデ之ニ伴ヒマシテ特別會計ノ豫算モ前ニ當リマシテハ更ニ現在特別會計ノ豫算モ前

ノ限度ガ七百萬圓ト云フコトニナツテ居ル
ノデアリマスガ、是デハ此ノ年度カラ年
度ヘ政府ノ手持ノ炭ヲ持越ス爲ニハ誠ニ範
圍ガ少イノデアリマス、之ヲ此ノ際二千五
百萬圓ト云フ限度ニ擴張ヲ戴キマシテ、此
ノ毎年二月乃至三月ニ於テ相當生産セラレ
ル炭、又不需要期ニナリマス際ニ非常ニ產
地ニ「ストック」セラレル炭ヲ成ルベク速力ニ
政府ニ於テ集荷致シマシテ、之ヲ政府炭ト
シテ不需要期ニ十分持越シテ、不需要期、
需要期ヲ均シテ配給致シテ參ルト云フコト
ヲ考ヘテ居リマス、其ノ爲ニハ此ノ程度ノ
借入金ノ限度ノ擴張ヲ願ヒマシテ、政府ノ
手持炭ヲ年度カラ年度ニ十分ニ持越シテ參
ルダケノ能力ヲ茲ニ付與シテ戴キタイ、斯
様ニ考ヘテ計畫致シマシタノガ本案ノ趣旨
デアリマス

ナラバ萬事サウ云フ風ニナルコトデアリマ
セウガ、今迄ノ例ヲ見マスルトナカヽヽサ
ウ參ツテ居リマセヌ、特ニ委員長ノ御注意ヲ
願ヒタイト思ヒマス

○子爵立花種忠君 本日併託サレマシテ、
マダ此處ニ参考資料モ多少戴イテ居リマス
ガ、ソレト衆議院ノ委員會ニ於キマスル速
記録モマダ能ク見テ居リマセヌ、之ヲ見テ
置キマセヌデ御質疑ヲ致シテ、重複スルヤ
ウナ虞ガアリマス、此ノ非常ナ切迫シテ居
ル時ニ、衆議院ノ委員會ト同ジヤウナ質問
ヲ繰返シテ、政府當局ヲ煩ハスト云フコト
モ本意デナイト思ヒマス、出來マスナラバ
本日ハ此ノ程度ニ止メテ、理解シナカッタ所
ヲ能ク研究シテ、次會ニ伺ヒタイト思ヒマ
スガ、如何デアリマセウ
○委員長(伯爵後藤一藏君) 皆サンニ御説
リ致シマス、如何デアリマセウ、——立花
子爵ノ只今仰シヤツタヤウニ、本日ハ此ノ程
度ニ致シマシテ、次回ハ十八日ノ午前十時
カラ開會致シタイト思ヒマスガ……

○子爵立花種忠君 只今野村子爵カラ御要
求ガアリマシタカラ、コチラカラ書類ヤ何
カ参考資料ヘ請求シマセヌデモ、若シアリマ
シタラバ、頂戴スレバ結構デアリマス、例
ヘバ之ニ關聯シテ燃料トシテ私ノ聞イテ居
ル所ニ依ルト、朝鮮アタリデハ油ノ代リニ
「カーバイド」ヲ大分使ツテ自動車ヲヤルト
云フコトヲ聞イテ居リマス、サウ云フコト
ガアリマスノデ、サウ云フ資料ヲ我々自ラ
探スコトモムツカシイ、若シモアリマシタ
ラ……無理ニ戴キタイト申ス譯デハアリマ
セヌカラドウゾ……

○政府委員(井野碩哉君) 承知致シマシタ
○子爵立花種忠君 ソレデハ大體ニ付テ次

官モオイデデスカラ伺テ置キタイノデスガ、生活必需品ニ付テ單リ内地ダケノ生産デハ間ニ合ハナイ、ソレハモウ悉ク比々然リト思ヒマス、ソレデ木炭ノ問題ハドウデスカ、或ハ臺灣アタリデモ、ア、云フ所デ材木モ出来、木炭モ造レル、サウ云フ方面ト交渉ナサッテ、内地ノ需要ヲ緩和スルト云フヤチ木炭對策ニ付テソレヲ取入レルト云フヤウナコトモ然ルベキコトト思フノデアリマスガ、今迄サウ云フコトハ餘リ聞カナイ、ソコハドウナツテ居リマスカ、ソレニハ及バヌ、無論運送ノ問題ガアリマスルガ、船腹ノ問題モアリマス、サウ云フヤウナ關係力ラ又靈給ノ對策ノ上カラ考ヘテ、外地迄抱括スル必要モナイ、斯ウ云フ御考デ居ラレルノカ、其ノ邊ヲ承ッテ置キタイト思ヒマス

ウモ困ツタコトダト思ツテ居リマス、併シ足
ラナイ時ニハ値段モ或程度ニハ高クテモ我
リマスデ、是ハ農林省當局ト雖モ亦サウデア
アラウト思フ、現ニ樺太廳長官ガ、今迄雄
太デハ伐リ過ギタ、是ヨリ以上伐ルト云フ
コトハ面白クナイト云フコトヲ公言シテ居
ルヤウナ狀態、我々心配モ亦其處ニアル、
單リ木炭ノ生産ノミデハアリマセヌ「パル
プ」ノ問題モアリ、此ノ高原地帶ヲ餘計ニ持
テ居ル内地ノ狀態デ、木ヲドンヽ伐ツテ
ジマフト云フヤウナコトハ、マア非常ニ憤
シマナケレバナラヌ、ソコデ併シ他方面ニ
於テハ或一定量ノ燃料ガ必要ダ、ソレダケ
ノモノハ伐採シナケレバナラスト云フコト
デアレバ、ソレニ對スル植樹、管理ト云フ
ヤウナモノモ亦考慮シナケレバナラヌ、是
ハ誰モ考ヘルコトデアル、サウ云フヤウナ
對策ガ一ツト、ソレカラ木炭瓦斯ヲ動力ニ
スルト云フコトノ外ニ、色々ノ動力源ガアリ
ルコトハ、御承知ノ通りデアリマス、殊ニ
「コーライト」ノ問題ノ如キハ、吾々ガ十年
前カラ利用ヲ勧メテ居ツタ、其ノ他「カーバ
イト」ノ問題モアリマセウ、詰リサウ云フノ
ヲ出來ルダケ取入レ、サウシテ木炭動力ノ
問題ヲ緩和スルト云フヤウナコトモ、單リ
思フノデスガ、即チモウ一遍言ヒマスレバ
山林對策、森林對策ノミナラズ交通ノ問題
カラ言ツテモ必要ダト思フ、サウ云フヤウナ
大キイ所ノ對策ヲ一ツ御述べテ願ヒタイト
マスガ、出來ルダケ安ク手ニ入レルヤウニ
努力ヲ致シテ居リマス、左様御諒承ヲ願ヒ
マス

○政府委員(井野碩哉君) 只今野村子爵ノ御述ニナリマシタニツノ點ハ、私共一番大事ナ問題ト考ヘテ居リマス、是ハ單リ木炭ダケヂヤゴザイマセヌ、木材需要モ最近非常ニ殖エテ參りマシタノデ、森林ニ對スル政策ト云フモノハ段々重要性ヲ加ヘテ參ッタ譯デアリマス、從ツテ農林當局ト致シマシテハ、大體大キク分ケマスト三ツノ政策ヲ立テタノデアリマス、其ノ一つハ國有林ニ付テハ元カラ施業案ト云フモノガ編成サレテ居ルノデアリマシテ、治山、治水ニ影響ノアル森林ハ伐採致シテ居リマセヌケレドモ、民有林ハサウ云ッタヤウナ計畫ガ確立シテ居リマセヌノデ、兎角濫伐ニ流レ易カツタノデアリマス、從ツテ昨年森林法ヲ改正致シマシテ、森林組合ヲシテ民有林ト雖モ施業案ヲ編成シマシテ、其ノ施業案ニ基イテ伐採サセルト云フ方針ヲ確立致シマシタノガ一ツデアリマス、ソレカラモウーツハ伐採致シマシタ跡地ニ造林ラスト云フ問題デアリマス、從來カラモ多少此ノ民有林ノ造林ハ致シテ居リマシタケレドモ、十分ノ徹底ヲ缺イテ居リマシタノデ、今回財務當局カラモ豫算ヲ御承認ヲ得マシテ、大體十箇年間ニ百三十二萬町歩ノ民有林ノ造林計畫ヲ樹立致シタノデアリマス、是ハ非常ナ私共カラ見レバ劃期的ナ造林計畫ト考ヘテ居ルノデアリマスガ、年々其ノ政策ヲ確立致シマシタ、ソレガ一ツデアリ採跡地竝ニ無立木地ニ對シテ造林ヲ致シマシテ、サウシテ木炭木材ノ需要ニ充足スル十分ノ一ノ造林ヲ行ヒマシテ、サウシテ伐採跡地竝ニ無立木地ニ對シテ造林ヲ致シマシテ、サウシテ木炭木材ノ需要ニ充足スル

リマシテ、林地ガ荒廢致シマスト治山、治水ニ非常ナ影響ガアルノデアリマスガ、ソレヲ恢復致シマス所ノ計畫ガ、昭和十二年ニ確立致シテ居ルノデアリマスガ、其ノ豫算ヲ毎年ズット繼續的ニ實行シテ參ッテ居ルノデアリマスガ、本年ヘ財政ノ計畫上竝ニ資財關係カラサウ云々タヤウナ繼續的ナモノハ繰延ベヲ、財務當局トシテモ農林當局ニ御要求ニナツタノデアリマス、併シ此ノ治山、治水ニ關スル以上、殊ニ資材關係ハ比較的サウ云フ方面デハ特殊ノ資材ガ要リマセヌ、「セメント」トカ云フヤウナモノデアリマスカラ、此ノ繰延ラシテ戴カナイ、既定計畫通り之ヲ完成スルト云フ方針ヲ執リマシタノガ第三點デアリマス、其ノ三ツノ大キナ方針ニ依リマシテ、木材、木炭ノ需要ノ増加ニ對應スルト云フ政策ヲ樹立致シタノガ御尋ノ第一點デアリマス、第二點ハ「カーバイド」、「コーライト」其ノ他代用燃料ノ問題ハ、是ハ農林省ダケデゴザイマセヌ、商工省ニモ關係シテ居リマスノデ、兩當局ニ於テ色々研究ヲ致シテ居リマス、併シ「カーバイド」、「コーライト」ニ致シマシテモ、ナカカノ現在ノ自動車ノ需要、其ノ他動力關係ノ需要ニ對シマシテ應ジ切レナイ生産能率ヲ示シテ居ルノデアリマス爲ニ、ドウシテモ矢張リ木炭ノ需要ト云フモノノ増シテ來マスクコトハ、是ハモウ覺悟シナケレバナラヌト思ツテ居リマス、現ニ木炭モ初メ農林省ガ獎勵シマシタ時ニハ、精々年ニ二三千萬貫出レバ非常ニ好成績ダト思ツテ居ツタノデアリマスガ、最近ハ「ガソリン」ノ輸入ガ非常ニ窮屈ニナリマシタ關係上、既ニ此ノガス用木炭ダケデモ一億萬貫近クノ需要

ヲ喚起シテ參リマシタノデ、其ノ爲ニ家庭用木炭ニ對スル相當ノ消費規正ヲシナケレバナラヌヤウナ事態ニナツタノデアリマスガ、今後ノ此ノ「ガソリン」ノ輸入、其ノ他ノ點位、——又「コーライト」「カーバイド」ハドノモ御承知ノヤウニ天然「ガス」或ハ液體「ガス」ノ問題モゴザイマス、ソレ等ノ點モ考慮ニ入レマシテ、色々商工當局ト相談ヲ致シテ居リマスガ、マダドレダケノ部面ヲドレニ充テルト云フ具體策迄ハ行ツテ居リマセヌ、併シ農林省所管トシマシテハ、出來ルダケ「ガス」用木炭ヲ富當ニ致シマシテ、サウシテ燃料對策ノ一助ニ致シタイト考ヘテ居ル次第ニアリマス

ト云フコトモ實驗済ニナツテ居ル、又今御詫
ノ「メタン」トカ「プロパン」トカ、サウ云フ
ヤウナ色々ナ「ガス」モアリマセウ、デスガ、
兎ニ角木炭ヲ餘計充當スルト云フコトハ甚
ダ不安ヲ國土ノ上ニ及ス、多クハ成ルベク
外ノ動力ニ依ツテ置キ換ヘル、斯ウ云フコト
ハ多少考ヘテ置カナケレバナラヌ、サウ云
フ風ニ考ヘテ御進ミニナルノカ、或ハサツキ
申シタヤウニ、外ノ動力「ガス」ハ急ニ之ヲ求
メルコトハ出來ナイカラ、今日ノ狀態カラ
言ヘバ木炭動力ノ方面ハ先づ成行ニ任シテ
置ク、併シ外ノ方面モ出來ルダケ利用シヨ
ウ、斯ウ云フ將來ノ御考デアルカ、二ツノ
考ヘ方ガアラウト思フ、ソコデドッチニソレ
ヲ御採リニナリマスカ、ソレヲ承リタイ
○政府委員(井野碩哉君)　只今申上ゲマシ
タ通り、「ガソリン」其ノ他ノ所謂油ノ燃料
ガ非常ニ不足シテ來テ居ルト云フコトカラ
生ジテ來ル代用燃料問題トシマシテ、是ハ
逆モ木炭ダケデハ私ハ充足出來ナイト思ツ
テ居リマス、現ニ自動車ダケデモ一億萬貫
ノ木炭ガ要ルノデアリマスガ、是ハ最近我
我方考ヘナケレバナラヌノハ、此ノ漁船方
面ノ代用燃料ノ問題モ考慮致サナケレバナ
リマセヌ、サウナッテ參リマスト、逆モ一億
萬貫或ハ一億五千萬貫デモ足リナイ時期ガ
來ルノデハナカラウカ、サウナッテ參リマス
トナカ〜内地ノ薪炭材ダケデ補フト云フ
コトハ困難ナ狀態ガアルノデアリマスカラ、
行キタイト考ヘテ居ルノデアリマスガ、其
ノ點ハ商工省關係デゴザイマスノデ、商工

○子爵野村益三君 大體御意思ノアル所ハ
諒承シマシタ、處デ例ノ森林伐採ニ關スル
施設デアリマスガ、此ノ施業案ノ實行ハナ
カナカムツカシイ話デ、植林ト言ッテモ十分
ニ監督ト指導ガナケレバ實際ニ於テ行フト
云フコトモムツカシイ話デアリマスガ、往
往聞クヤウナ所謂何十年ノ自然更新、天然
更新ト云フヤウナコトハ能ク素人ガ騙サレ
テ、ア、云フヤウナコトヲ言ッテ、サウシテ
森林ト云フモノガ出來ルノデアルト云フヤ
ウナ考ガ、マア今迄ノ通有ナ考ダト思フ、
ドウカ施業案ナリ或ハ此ノ植林案ヲ立テラ
レタ以上ハ十分ソレヲ督勵シテ、サウシテ
治山治水ノ上ニ於テ、又需給ノ關係ニ於テ
十分遺憾ノナイヤウニ、十分ナル御努力ヲ
願ヒタイ、私ハ切ニソレヲ祈ルノデアリマ
スガ如何デスカ

○政府委員(井野碩哉君) 全ク只今御述ノ
趣旨ハ私共同感デデ、ゴザイマシテ、サウ云
フ方面ニ進ミタイト考ヘテ居リマス

○委員長(伯爵後藤一藏君) 他ニ御質疑ガ
ゴザイマセヌケレバ、大體今日ハ此ノ程度
デ延會致シタイト思ヒマス、先程申上ゲマ
シタヤウニ十八日午前十時カラ此ノ委員會
ヲ開クコトニ致シマス、今日ハ是デ散會致
シマス

午後二時五十二分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵後藤 一藏君

副委員長 男爵今園 國貞君

委員

公爵徳川 家正君
子爵清岡 長言君
子爵野村 益三君
子爵立花 種忠君
男爵水谷川 忠麿君

政府委員

| | | | |
|-----------|--------|-----|-----|
| 大藏次官 | 廣瀬 | 有賀 | 光豐君 |
| 大藏書記官 | 河野 | 西野 | 元君 |
| 農林次官 | 一之君 | 土方 | 久徵君 |
| 農林省山林局長 | 井野 | 澁澤 | 金藏君 |
| 朝鮮總督府政務總監 | 碩哉君 | 野村 | 德七君 |
| 朝鮮總督府財務局長 | 井出 | | |
| 臺灣總督府總務長官 | 正孝君 | | |
| 臺灣總督府財務局長 | 大野綠一郎君 | | |
| 保險院長官 | 斎藤 | | |
| 簡易保險局長 | 中嶋 | | |
| | 樋貝 | | |
| | 前田 | 直昌君 | |
| | 一郎君 | | |
| | 證三君 | | |
| | 穰君 | | |

昭和十六年二月十五日印刷

昭和十六年二月十六日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局